

令和4年7月20日

学習だより

宇都宮市立陽北中学校 学習指導部

【生徒のみなさんへ】

◎夏季休業中の学習について

本校では、7月21日(木)から8月28日(日)までの39日間が夏季休業期間になります。それぞれの学年で、この長い期間での学習に対する向き合い方は違いますが、一人一人が明確な目的を持って学習計画を立て、日々の学習に取り組んでください。1学年と2学年では、「5科のテキスト」が用意されていますが、それだけをやれば十分という訳ではありません。(休みに入る前から始めている様子も見られますが、終わったら休み中に勉強しなくて良いという訳ではありません。)各学年ともに、現時点までの各教科の学習を十分に振り返って、「得意をもっと得意に!」「不得意の解消」を目指してがんばりましょう。

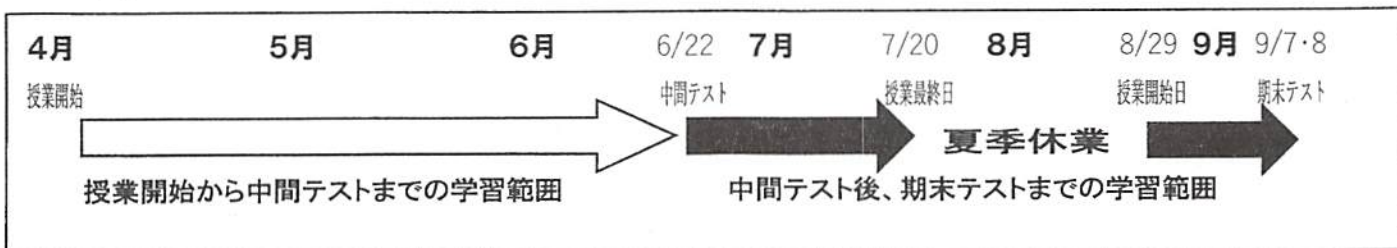
○夏季休業明けのテストに向けた学習

夏季休業が明けてすぐ、8月30日(火)に全学年ともに実力テストが予定されています。事前に出題範囲表(学年が進むほど出題範囲は広がるのですが・・・)が配布されますので、その内容を教科や領域ごとにしっかりと日々の計画に組み込んで、出題範囲全てがカバーできるようにしましょう。

次に1学期末テストが9月7日(水)・8日(木)に予定されています。どちらかというとも夏季休業中はこちらのテスト対策に全力を尽くして欲しいところです。その理由は先月号「○定期テストの意味」で触れたとおりなので、今一度読み返してその重要性を確認してください。

○期末テストの対策

先月号の「○答案返却後が本番!・・・」の部分から続きます。中間テストの「振り返り」はしっかりできましたか? 期末テストに向けて大切な部分がここで関連してきます。下の図に示すとおり、中間テスト後から期末テストまでの授業の進み具合は、年度初めから中間テストまでのものと比較すると圧倒的に少ないのです。期末テストの範囲として指定されるのは、➡で示した期間に授業で行った学習内容になるのは当然ですが、さかのぼって中間テストの範囲、特に正答率の低かった問題(領域)が再出題される可能性があるということです。もちろん絶対に再出題される保証はありませんが、さらに学年末テストまでのことを考えるとやっておく価値は十分にあるのです。



【保護者の方々へ】

夏季休業開始直後に、学級担任との面談が組まれています。生活や学習の様子についての話題がメインになるかと思いますが、特に各教科での授業中の様子や家庭学習の取組について、お子様の実態を十分把握していただき、夏季休業期間も含めたその後の学習方法・学習習慣の向上につなげてください。

[文責・学習指導主任 甲賀 健一郎]

※「学習だより」は、本校 HP からご覧になれます。左記 QR コードからアクセスしてください。

